

常葉学園だより

常葉学園本部
常葉学園大学・浜松大学・富士常葉大学
常葉学園高等小学校・中学校
常葉学園橘高等学校・中学校
常葉学園菊川高等学校・中学校
常葉学園大学教育学部附属橘小学校
常葉短大附属とこは幼稚園
常葉短大附属たばな幼稚園
常葉学園医療専門学校
常葉学園静岡リハビリテーション専門学校
常葉リハビリテーション病院

第202号

「常葉大学」ロゴマーク決定



常葉大学
TOKOHA UNIV.



「常葉大学」新設プロジェクト発表会
(H24.4.9 ホテルアソシア静岡)



常葉学園理事長
木宮 健二

「常葉大学」 新設プロジェクト 推進中

常葉学園大学・浜松大学・富士常葉大学の3大学統合(平成25年4月)を機に、3キャンパス・11学部・21学科という学びの幅が広がる新しい大学教育が始まります。この新展開に呼応しながら、新生「常葉大学」のユニバーシティ・アイデンティティを表象するロゴマークを制定いたしました。従来から、学校法人常葉学園には幼稚園から大学までが共通で使用しているロゴマークがありますが、大学独自のロゴマークやキャッチコピーなど決まりましたのがありませんでした。今後は、この大学独自のロゴマークを幅広く使用していくことで、認知度アップとイメージアップに繋がっていくプランディングに期待しています。

また、タグラインは、「つながる、ひろがる、つくりだす。」として、「常葉大学」の理念を具現化したロゴマークに加えて、めざすべき大学像への想いを表明しています。一般的な静的なロゴマークと違い、コミュニケーションマークとしても機能するこのマークは、TOKOHAのTを今まで培ってきた伝統を象徴する「常葉グリーン」で表し、UNIVERSITYのUを新生常葉大学誕生への強い志を表現した情熱の「常葉レッド」で表しています。横にすると常葉の「トコ」に読める親しみやすさもポイントです。

「ロゴマークのデザインは、PARCOの広告展開などを手掛けたことでも著名なアートディレクター秋山真義氏によるものです。」

統合に併せて地域社会に貢献できる2学部を開設いたします。静岡県内初の法学部となる法学部法律学科は、公務員や公的機関職員、法務に精通したビジネスパーソン、行政書士や司法書士などを幅広く養成する新しいタイプの法学部です。健康科学部は、医療や福祉の現場で即戦力となる看護師と理学療法士を養成する看護学科・静岡理学療法学科の2学科で構成されています。両学部とも社会の大きな期待を担っています。両学部とも社会の大きな期待を担っています。この記載内容は、2013年4月に向けて構想から徒歩圏内の街中になり、環境保全・省エネルギー・バリアフリーをコンセプトとした新时代にふさわしい都市型キャンパスです。

常葉学園医療専門学校の閉校によせて

常葉学園医療専門学校は平成24年3月11日、4学科最後の卒業生77名を世に送り届け、次いで、多数のご来賓・保護者のご臨席を賜る中、木宮健二理事長の閉校通告と校旗返納を挙行とともに閉校式は終了し、16年間の歳月の歴史に幕を閉じました。まずは、永きにわたりて本校の教育運営に多大なご指導・ご鞭撻・ご援助を頂きました関係各位の多くの方々に熱く御礼申し上げますとともに、改めて深謝申し上げます。

さて、医療専門学校は平成8年に静岡県浜松市の中北部にある閑静な田園の広がる地に、静岡県で初めての4年制の理学療法学科と作業療法学科を擁する専門学校としてスタート致しました。時期的には日本が高度成長期に突入する直前のことであります。今でこそリハビリテーション医学という言葉は、広く人口に膾炙されておりますが、当時はあまり知られていない分野の学問でした。今日では、リハビリテーション療法によって失われた身体機能の回復・維持と社会復帰の問題が、人としての尊厳の回復はもちろんのこと、社会的・経済的損失の回復にもつながる大きな国家的重要課題の一つとなっております。振り返れば、本校の開学は将来のリハビリテーション医学を見通した慧眼であつたとしか言いようがありません。また、平成17年には、鍼灸学科と柔道整復学科、および、学生実習に必要な「*とこは鍼灸接骨院*」が併設され、常葉学園医療専門学校は4学科を揃える静岡県下でも常に高い国家試験合格率や就職率を誇る、より質の高い医療専門学校として成長し、地域医療に大きく貢献して参りました。しかし、医学の発展とともに、これらの4学科はそれぞれの分野で医療とそれを裏付ける学問が、特化・深化し、従来の専門学校の教育では対応できなくなつて來たため、平成21年には理学療法学科と作業療法学科は、浜松大学の保健医療学部へ、平成22年には鍼灸学科と柔道整復学科は浜松大学健康プロデュース学部の健康鍼灸・健康柔道整復学科へとそれぞれ再編成されることとなり、平成23年度をもつて、4学科は完全に浜松大学に発展改組し、新たにより質の高い地域医療を担う学生を育成することになりました。こうした経緯も本校の創設以来、総勢1172名の卒業生が、各々の地で地域医療に貢献してきた実績の結果であります。今後、常葉学園を支える一角になることを大切に祈っております。

最後に長年の本校の教育運営にご支援頂いた、常葉学園本部をはじめとして、全教職員の方々に厚く御礼申し上げます。

内藤 恭久



医療専

閉校式・閉校記念パーティー



3月11日(日)、
ホテルコンコレ
ド浜松にて本校
の卒業式が終
わった後、閉校
式が行われまし
た。卒業生達が
静かに見守る

中 木宮健二理
事長から閉校通
告や、校旗返納

などが行われている時、学生だけではなく教員や
保護者の方々も、緊張感とは別に、どこかもの
寂しげな雰囲気に会場がおおわれていたのが印
象的でした。後日、お世話になり退職された先
生方や4学科全ての卒業生に招待状を贈り閉校
記念パーティーが開かれました。忙しい中、総勢
235名という多くの方々に集まつて、だ
き、ビンゴゲームやベストドレッサー賞、創作
ビデオを上映し、思い出を残すため参加者の写
真をタイムカプセルに入れなど様々なイベン
トが行われ、パーティーは華やかに開催されま
した。

本校は平成8年に静岡県初の理学療法士、作業療法士の養成校として開校しました。平成17年には鍼灸学科、柔道整復学科が設立され、質の高い学力に裏打ちされた優れた医療技術の習得」と「病者への奉仕の心」を教育理念に、4学科合計1095名の卒業生を送りだしました。そして平成24年3月、浜松大学との発展、移校という転機から、医療専門学校は閉校を迎えました。卒業生達はこれからも学校で学んだ知識、技術を發揮し、誇りと希望を持って、社会に貢献して欲しいと願っています。



歴史資料館がリニューアル

4月より、今まで2号館2階にありました歴史資料館が3号館3階に移りました。懐かしい写真が展示されていますので、タイムスリップした一時をあじわえることできます。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



常葉会発足記念食事会 清水シティホテルにて

メンバーパート紹介：

会長 宮本 徳洋 (営業統括本部 浜松大 H4.3月卒)
副会長 都筑早季子 (経営企画部 人事総務担当 H12.3月卒)

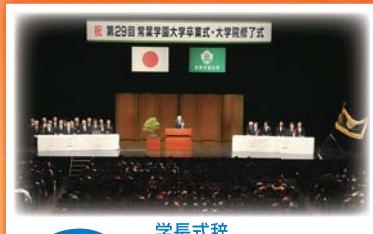
弊社は、「清涼飲料水」を提供する会社です。常葉学園の皆様にも自動販売機を通じ、「おいしさ・笑顔・元気」をお届けしています。

「米久ベンディング常葉会」が誕生！

この度、常葉学園を卒業した米久ベンディング株の社員16名と役員による米久ベンディング常葉会が発足しました。きっかけは社員同士の「あなたも常葉?」「私も常葉」という会話から始まり、気がつけば沢山の社員が常葉学園の卒業生であったことです。発足記念の食事会には、木宮岳志副理事長・村上産業㈱村上信也社長・橋高校OBのご臨席を賜り、常葉学園の将来像についてお話を伺いました。時代の変化と共に学園の形は少しづつ変わっていますが、建学の精神・常葉精神は変わることなく「静岡」の地に根付いている学園だと実感しました。

研修センターでの座禅や食事のこと、校則違反をして先生に叱られたこと、辛かつたけれど部活動に夢中だったこと、友達とのおしゃべりに明け暮れた日々⋮それぞれの思い出に浸つた1日でした。普段はなかなか話さないお互いの学生時代の思い出話は懐かしく、社員同士の絆を更深めてくれました。それぞれの社員は役職・年齢・卒業した学校も様々ですが、学生時代の思い出話になれば共通の話題も多く、盛会裏に食事会は終わりました。桜の花が咲き、爽やかな風と共に今年も常葉学園を卒業した新入社員3名を迎えます。社内が1年内で最もフレッシュな雰囲気になります。今後も、少しずつ仲間の輪が広がり、常葉学園と米久ベンディング常葉会が、末永く「絆」で繋がりつづけていけることを願っています。

平成23年度 常葉学園卒業式



学長式辞

常葉大



卒業生答辞、稻葉さん(教育学部卒業生)

富士常葉大



去る3月15日(木)、本校4期生卒業生55名を無事に送り出すことができました。式中、答辞を聞きながら感極まつて涙ぐむ学生も多く見受けられました。いよいよ4月からは社会人として働きます。が、本校の教育理念にある通り、「尊敬され、信頼される理学療法士」として羽ばたいてほしいと教職員一同願っております。

ここは幼



3月11日(日)、ホテルコンコルド浜松で卒業式が行われました。卒業生はそれぞれ歩んできた3年間・4年間という年月の経験や努力・思い出を振り返り、その顔つきは立派な医療人に変貌していました。

医療専門学校は23年度で閉校となるため、今回が最後の卒業生であり、卒業式となりました。しかし、卒業生は本校の卒業生であることには誇りを持って、立派な医療人として活躍してくれることでしょう。



卒業生代表の言葉を読む澤田君

医療専

常葉短大



橘中



祝 第7回 卒業



菊川高

静岡リハ専



厳謹な雰囲気に包まれた会場内



常葉中・高



中学

高校

橘小



別れの歌「あなたに会えて…」を歌う卒業生

たちばな幼



高校は3月3日(土)、中学は3月19日(月)に卒業式を行いました。昨年は東日本大震災により多くの被害を受けた方々がおり、まだ復興にはほど遠い状態でありますこと、さらに現在の校舎でできる卒業式は最後かもしれません」という思いがあり、卒業生一人一人が例年とは違った想いで臨んだ卒業式でした。3年間うれしいことや悲しいことを共に乗り越えてきた仲間との別れはつらく、式中泣いてしまう卒業生が大勢いました。「新しい環境でも皆との思い出を胸に頑張る」と決意を新たにした卒業式でした。皆さんの今後の活躍を期待しています。

富士
常葉大

高大連携調印式



調印修了

常葉学園だより

DO-ing「富士山カルタを作ろう」

常葉大

DO-ing報告会の様子
スライド右側が説明文
左側が読み札

富士山カルタ

富士山は、今、世界文化遺産に認定される可能性が高くなっています。そのため様々な方々に富士山について知つてもらいたい。カルタ製作にあたり、実際に富士登山をし、地上から見ただけでは分からぬことも題材にし、教育学部生と造形学部生の持ち味を生かして、読み札と絵札を作成をしました。普通の絵札の裏には富士山をより知つてもらうために説明文を入れました。23年度は祭や東源台第二児童クラブで実際に製作した「富士山カルタ」を作りを行い、東源台第二児童クラブでの活動は1月8日の静岡新聞に掲載していました。機会を広めたいと思っています。

3月7日(水)に、津中央高等学校と本学の高大連携協定書の調印式が行われました。調印式は、学長室で行われ、栗原進校長と木宮健二学長が協定書にそれぞれ署名しました。高大連携事業は平成22年度から実施され、これまでから、出張講義、大学見学、研究発表会講評、課題研究助言、研修会講演などの多彩な事業を展開してきました。今後は高大連携事業の一層の充実と発展を図ることによって地元との結びつきを強固にし、高等学校と大学が相互に教育活動を増進させることができます。

菊川中



中学校外学習

3月7日(水)に、津中央高等学校と本学の高大連携協定書の調印式が行われました。調印式は、学長室で行われ、栗原進校長と木宮健二学長が協定書にそれぞれ署名しました。高大連携事業は平成22年度から実施され、これまでから、出張講義、大学見学、研究発表会講評、課題研究助言、研修会講演などの多彩な事業を展開してきました。今後は高大連携事業の一層の充実と発展を図ることによって地元との結びつきを強固にし、高等学校と大学が相互に教育活動を増進させることができます。

パパママ応援団inツインメッセ



学園プレゼンツふれあいソーン

3月10日(土)に、内の3大学・1短大の学生たちによるステージが行われました。本学からは、幼稚園向け実技サークル「ぱれっと」が『ぱれっとあそば☆』のみんなで体をうごかそう!と称し、イベントへ参加しました。当日は生憎の天候でしたが、多くの家族連れが来場してくださいました。生たちはステージと観客席に分かれ、子どもたちとふれあい、音楽に合わせて一緒に体を動かしていました。子どもたちと一緒に生き生きとした瞳や笑顔が次への挑戦に繋がっていくと思います。保育士を目指す学生たちにとって、この経験が、心を大きく成長させていると感じました。

ブックトークと弾き語り

坂井さん(左)と村上先生(右)
のコラボレーション

橋中

3月7日(水)に本校中学が校外学習に出掛けました。1年生は静岡県立科学館館長くるで体験活動をしました。2年生はお茶の郷でお茶の歴史などを学んだ後、富士山静岡空港を見学。3年生は掛川グランドホテルでテーブルマナー教室を行いました。それでの場所で充実したひとときを過ごすことが出でます。

常葉
短大

パパママ応援団で大活躍

思います。

静岡の平和を守る
とこたんレンジヤー!

坂井さんの曲もさないままでした。そのつながりや命の尊さでしめた。これを機会に、人間としての幅を広げていってほしいと

坂井さんの歌も、そのつながりや命の尊さでしめた。これを機会に、人間としての幅を広げていってほしいと思います。

坂井さんの歌も、そのつながりや命の尊さでしめた。これを機会に、人間としての幅を広げていってほしいと

第47回
理学療法士国家試験静岡
リハ専

いよいよ試験会場へ



3月30日(金)の合格発表の結果51名が合格。全国の平均合格率を上回ること出来ました。



常葉中

中学イングリッシュ
コンテスト

2月22日(水)、中学イングリッシュスピーチコンテストが行わ

れました。中学1年生は英語劇、中学2年生と3年生は自分の夢や伝えたい思いを題材にし、授業中だけでなく放課後も学校に残つて一生懸命に練習していました。前で話すのは誰でも緊張しますが英語となるとさらに難しく、緊張しながらも堂々とした発表やスピーチを聞くことができました。結果は、1年生の部優秀賞は1~2片野優那さん・小野百音さん・畠桃香さん・鈴木詩音さんのグループ、2年生の部最優秀賞は才茂佑理愛さん、3年生の部最優秀賞は大塚沙映さんに決まりました。

3月11日(日)にツインメッセで開催された「パパママ応援団」(静岡県ほか主催に、常葉短大の日本語日本文学科、保育科・音楽科から約35名の学生が参加し、ミニステージでは「ふなかけ」「サクリフオンコンサート」などのパフォーマンスを繰り広げ、来場した多くの親子に楽しんでもらいました。そしてメインステージでは、保育科・専攻科保育専攻の男子学生総勢13名

が、「どこたんレンジヤーショー」を公演し、会場からアシパンマンにも負けない大声援を受けました。参加学生にとって、日頃の成果をたくさんの人たちの前で発表することができ、大変貴重で楽しい1日となりました。

常葉
短大共に感動できる
同窓会をめざして

常葉短大同窓会通信『しどらすgreen』第15号を発行しました。常葉短大同窓会では、2カ月に一度役員会を開催し、短大同窓生の皆様に沢山の感動をしていました。同窓会通信『しどらすgreen』も平成24年3月に第15号を発行しました。常葉短大学生課内同窓会事務局によるカット画が飾り、紙面には行事案内や短大の近況やお知らせ等を掲載しています。住所変更等でお手元に届いていない方は、同窓会事務局までご連絡下さい。

T E L 0 5 4 - 2 6 1 - 1 3 1 5



浜松大

市民の皆さまの支援を受けて、
絵本教材をカンボジアへ

学生達が作成した絵本

カンボジア出発を前に、
鈴木康友市長に報告する学生

心身マネジメント学科木村ゼミの学生達は、浜松駅前周辺で募金活動をし、集めた資金を基に2種類の絵本を完成させました。作成した絵本200冊を持ちカンボジアへ研修ツアーに参加しました。研修に先立ち、浜松市民の善意に感謝を伝えるために、2月16日(木)、ゼミ生らが浜松市役所を訪問し、鈴木康友市長にこれまでの活動報告を行いました。学生の活動がカンボジアの子どもたちの識字率向上に役立ち、カンボジアと日本をつなぐ架け橋となることを願っています。

富士
常葉大

合同企業ガイダンス開催



会場内の様子

企業担当者の説明を受ける学生たち

2月10日(金)美しく雪化粧した富士山が見えたる、富士市平塙のホテルグランド富士において、「富士常葉大学合同企業ガイダンス2012」を開催しました。静岡県内外から50の企業と機関が集まり、ブース出展しました。3年生約200名の学生が来場して、直接企業の人事採用担当者と接し、情報を知り得ることで、就職に対する新しい視点を持つことができました。学生は一人平均5~6社のブースを回り説明を受けました。また、企業側のブースにO.B.O.Gの姿もよく見受けられるようになりました。本学が地域に根ざしていることが表れてきました。地域の活性化に貢献する人材の養成を目指し、学生が主体的に卒業後のキャリアデザインを形成していくよう期待すると同時に、継続的なキャリア教育の必要性を感じました。

6年生を送る会
～「ありがとう」の気持ちをこめて～

3月7日(水)、6年生を送る会が開かれました。小学生達は、浜松駅前周辺で募金活動をし、集めた資金を基に2種類の絵本を完成させました。作成した絵本200冊を持ちカンボジアへ研修ツアーに参加しました。研修に先立ち、浜松市民の善意に感謝を伝えるために、2月16日(木)、ゼミ生らが浜松市役所を訪問し、鈴木康友市長にこれまでの活動報告を行いました。学生の活動がカンボジアの子どもたちの識字率向上に役立ち、カンボジアと日本をつなぐ架け橋となることを願っています。

橘小

常葉高 合唱コンクール

菊川
中・高空手道部
中・高全国選抜大会出場

高校空手道部は3月26日(土)28日岡山県の桃太郎アリーナで行われた全国高等学校空手道選抜大会へ東海地区代表として出場しました。全国空手道選抜大会へ東海地区代表として出場しました。団体組手を始めとする5種目に出場し、各種目で健闘してくれました。また、中学生空手道部は3月28日(日)30日に北海道で行われた全国中学空手道選抜大会へ3名が出場、1年生組手の部に出演した虎太朗君がベスト16に進出しました。学年虎太朗君がベスト16に入りました。

静岡
リハ専

新 学友会メンバー決定!



新学友会メンバー

学友会会長に選ばれた
本目紗和子さん

高校空手道部は3月26日(土)28日岡山県の桃太郎アリーナで行われた全国高等学校空手道選抜大会へ東海地区代表として出場しました。団体組手を始めとする5種目に出場し、各種目で健闘してくれました。また、中学生空手道部は3月28日(日)30日に北海道で行われた全国中学空手道選抜大会へ3名が出場、1年生組手の部に出演した虎太朗君がベスト16に進出しました。

高2沖縄修学旅行



シーサーの絵付け体験

由布島へは
水牛で渡りました静岡
大

新 学友会メンバー決定!



新学友会メンバー

学友会会長に選ばれた
本目紗和子さん

高校空手道部は3月26日(土)28日岡山県の桃太郎アリーナで行われた全国高等学校空手道選抜大会へ東海地区代表として出場しました。団体組手を始めとする5種目に出場し、各種目で健闘してくれました。また、中学生空手道部は3月28日(日)30日に北海道で行われた全国中学空手道選抜大会へ3名が出場、1年生組手の部に出演した虎太朗君がベスト16に進出しました。

橘高

高2沖縄修学旅行



シーサーの絵付け体験

由布島へは
水牛で渡りました



追悼の思いを寄せて「絆3・11」

園児たちの思いも届け!
3月11日(日)、浜松大的学生が中・心となり、静岡大、静岡文化芸術大の3大学の学生が、東日本大震災で亡くなられた方々を追悼し、震災の風化防止を目的に「復光キャンドルナイト」を開催しました。中でも、6年生たと同時に黙とうを行い、その後17時より浜松市アクリヤード通りと中央広場で10000本のキャンドルを灯しました。中央広場には「絆3・11」と書かれた歩道沿いに、人々は、人々は、決して忘れてはならない被災地の惨禍をかみしめました。

10000本の灯を。 「復光キャンドルナイト」開催

橋小

第29回「理事長杯争奪 常葉学園百人一首大会」初優勝!



2月18日(土)、高校から小学校までの強豪21チームが集い、常葉学園百人一首大会が橋高等学校「和敬庵」にて行われました。橋小学校は、学校選抜の6名が出場し大健闘しました。中でも、6年生の今井瑛莉奈・5年生伊藤優里奈ペアは1回戦、常葉学園高等学校2回戦目と3回戦目は、菊川中高等学校と対戦し、接戦の末、みごと優勝を果たしました。橋小学校は、25回目の出場で初優勝。優勝カップを手に笑顔の凱旋となりました。

橋小学校では五色百人一首を指して、学園百人一首出場を目指しています。この大会も2年生が2名出場するなど、低学年が大活躍しました。今回出場した6名の児童に大きな拍手を送りたいと思います。

菊川 中・高

SPAC高校演劇 フェスティバル 2年連続受賞

SPAC高校演劇フェスティバル2012が開かれ、「最優秀スタッフ賞」に本校演劇部の1年岩林奏恵さん、豊田桃子さんの2名が選ばれ、昨年度の3年浦野瑚涼さんと2人は演者として参 加し、役者からの要望や指示に対応していました。姿が評価され、SPACの俳優、スタッフの光が優しく照らしました。

中・高マラソン大会

橋 中・高



高校男子の部 スタート!

2月24日(金)草薙総合運動場で中・高のマラソン大会が実施されました。雨上がりの中、中学生が暖かい天気になりました。高校生は男子6.6キロ、女子4.1キロ、高校生は男子7.0キロ、女子4.5キロの距離を走り抜きました。

保育 サービス センター



みんな主役! ここはフェスティバル!

恒例の「ここはフェスティバル」を3月10日に行いました。日頃楽しんでいる歌遊び・リズム・綱引き・ジャンプ等を取り入れました。ご両親と離れるのが辛くて泣き出した子も、本番になると友達や先生と一緒に主役です。年齢に合った表現で、可愛くて愛嬌タップリの前で張り切る子、緊張する子、戸惑う子と様々でしたが、一人ひとりが主役です。年齢に合った表現で、得意気な笑顔に、観客は拍手喝采! なこやかな雰囲気の中、親の自己紹介や先生方の寸劇もあり、子供たちの成長を感じ取れた有意義な一日でした。

どこはインフォメーション

浜松大	▶ オープンキャンパス	5月26日10:00~15:00	浜松キャンパス	大学説明、学科紹介、体験授業、施設見学、ランチ体験など
常葉短大	▶ 第2回 オープンキャンパス	5月12日(土)		
橋小	▶ 音楽科 1日体験入試、体験レッスン	5月12日(土)		
	▶ 平成25年度 入学者募集説明会	5月18日(金) 第1回学校説明会 13:00~14:40	橋小学校	保護者対象説明とお子様向けお楽しみ体験教室

ここは 幼



ここは 幼



おたのしみ パーティー

今年度最後のクッキングで、おたのしみパーティーを行いました。年少組はピザ&コーンスープ、年中組はケーキ、年長組は各クラスで好きな料理を作り、園内はおいしい香りでいっぱいになりました。あひる組は、自分たちで作った輪飾りで保育室を飾りつけ、パーティー気分が盛り上がったところでワクワク・ドキドキしながらケーキを作りました。カステラに、生クリーム・いちご・バナナ・チョコレート菓子を飾りつけ、気分はすっかりパーティシェです。自分で作ったケーキと、愛情のこもったお母さんの弁当をおなかいっぱい食べました。どの学年もおいしくて楽しいパーティーになりました。

たのしい ようちえん



年長さん ありがとう



お別れ遠足に行ってきました。縦割りで3グループに分かれ、それぞれ公園で楽しく遊び、思い出をいっぱい作りました。

平成24年度 常葉学園入学式

たちばな
幼



とこは
幼



橘小



橘
中・高



常葉大



菊川
中・高



富士
常葉大



常葉
短大



浜松大

大学・大学院・留学生別科入



静岡
リハ専

